

ポム・ド・パン

第6号

■知的障害者更生施設ウインドヒル 香川県高松市三谷町3851番地
TEL050(3734)6707 TEL087(888)4277 FAX 087(888)4278

■社会福祉法人 ポム・ド・パン発行
■発行日2011年7月30日



九州新幹線(H23.3.12開通)を使って篤姫の郷、鹿児島に研修旅行に行ってきました。

桜島をバックに!!7/7(木)~7/8(金)

平素より社会福祉法人 ポム・ド・パンにご理解、ご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

また、東日本大震災により、被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地域の一日も早い復興を心より祈念いたします。

さて、平成15年9月に社会福祉法人が設立し、翌年、平成16年12月、知的障害者更生施設ウインドヒルが開所しました。思い起こせば、平成7年8月、五色台自然の家でのキャンプの中、自閉症の専門施設の設置に向け、「施設設立発起人会」が結成されました。それから早くも15年が立ち、親子ともにひとつひとつ、ゆっくりと着実に年を重ねてきました。

知的障害の中でも自閉症障害を伴っている人達は、強いこだわりや常同行動等の特異な問題行動があり、これらの特性を踏まえた適切な処遇が行われないと大きな不適応行動へとつながり、社会生活が著しく困難なものとなってしまいます。障害があっても、生き生きとくらめいて生活できるように職員が一丸となり利用者に丁寧につきあっています。

利用者の「できる」可能性は無限大です。ウインドヒルでの体験、経験をより深めて、より質の高い生活を目指します。

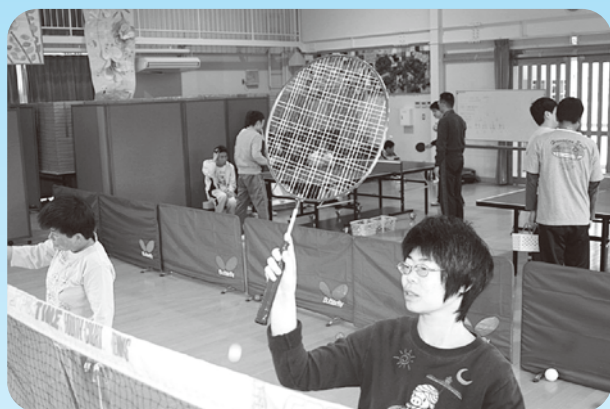
施設長 松原 正子

成長の軌跡 PART①

ウインドヒルでは設立時より療育の一環として様々な運動やスポーツ活動を取り入れてきました。7年間の間に様々な新しいことができるようになりました。今回から3回に分けて成長の軌跡を追っていきます。まずは卓球教室の特集です。



●実践さながらの練習をしているグループです。審判も利用者が代わる代わる務めています。毎週白熱したラリーが行われています。



●カラーボールを大きなラケットを使って打ち返す練習です。丁度良い力でタイミングよく腕を振らなければ、なかなか狙ったところには打ち返せません。



●もちろん片付けも利用者自で行ってます。



●ペットボトルを半分に切った容器にバウンドしてくるピンポン球を入れる練習です。近づいてくるピンポン球をしっかりと見ながら、肩、肘、手首を上手に動かさないと取れません。

【卓球教室について】

平成21年9月より毎週月曜日の午前中に地域交流棟で実施しています。現在はレベルに応じて4つのグループに分かれ、その中で利用者ごとに個別の目標を立て、1人ひとり違った一歩先の目標に向かって頑張っています。

地域の方々との交流



地域との集い



●三木先生と一緒に歌おう!日頃の練習の成果を披露しました。



●池下先生とトーンチャイムの演奏!会場が聴き入りました。



昨年10月31日(日)に第5回地域とのつどいが行われました。あいにくの雨天となりましたが、ご近所のみな様などたくさんの方々にお越しいただきました。地域のつどいも5回目を迎え年々盛大になっています。ご協賛頂きましたみな様、ボランティアのみな様ありがとうございました。

その他にも、3月6日(日)三谷町のクリーン作戦にウインドヒルの利用者が参加しました。また地元の方々と一緒に三谷町の日山を散策しました。



綾川町の水仙ロード散策



3月24日(木)リフレッシュクラブのみな様と綾川町の水仙ロードを散策してきました。

自治会、リフレッシュクラブのみな様とバーベキュー行事



6月4日(土)ウインドヒルで行われたバーベキュー行事に地元自治会のみな様、リフレッシュクラブのみな様をお招きいたしました。

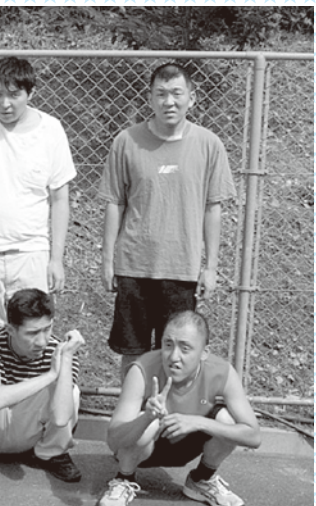
ポム・ド・パンの仲間の紹介



の絶えない9名です。



A棟 男性に負けないパワーと笑い声の絶えない仲間们です。



のも一生懸命がんばって



B1棟 少しずつ自分の事は自分で出来るようになっていきます。



指して毎日規則正しく生



B2棟 気候の良い時期は屋外作業で汗を流しながらがんばっています。



お花見



ナイスハート



田植え



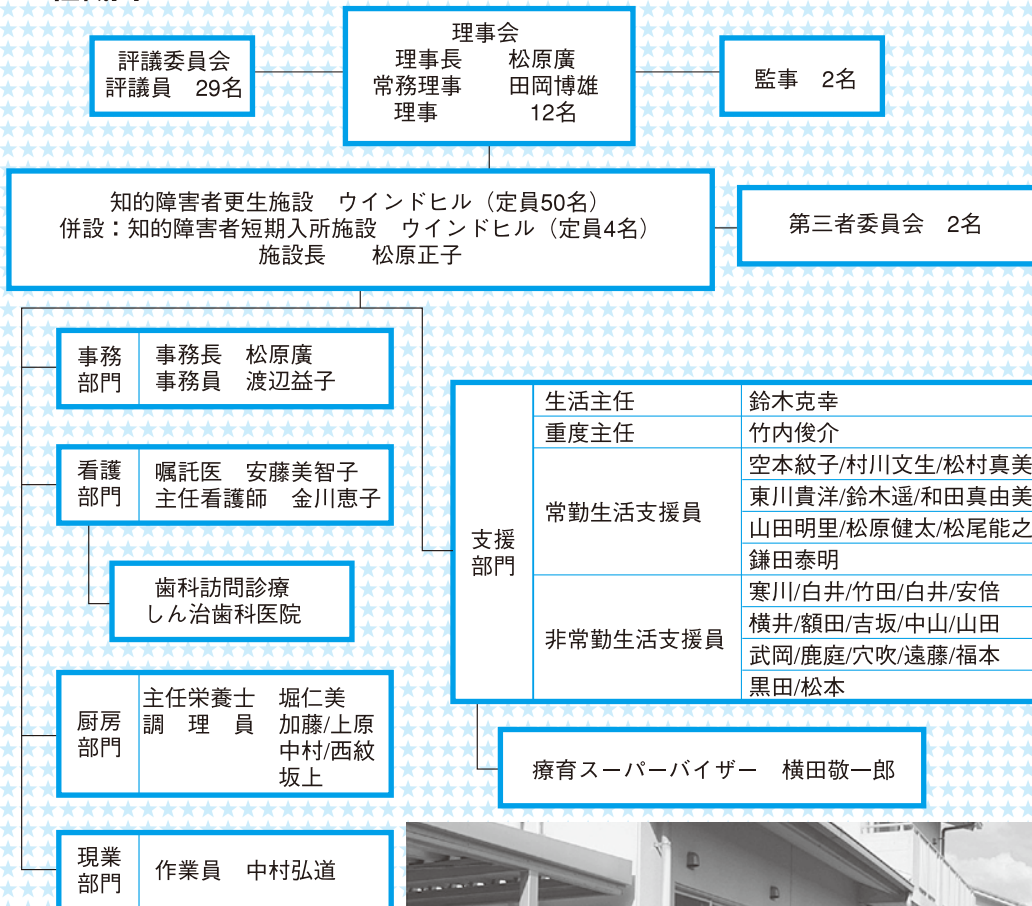
ボウリング



地元「ぼたん」でのお食事

ウインドヒルの職員の紹介

組織図



C1棟 いつも元気な笑顔の



C2棟 仕事も当番も遊ぶの
ます。



D棟 自立した生活を目指
活しています。



調理実習でサラダをつくりました。



後列左より 松原、松尾、松村、村川、空本、鎌田、和田、鈴木、東川
前列左より 竹内、松原、金川、鈴木



職員と一緒に両手でボウリングの球を
投げました。



寒空のもとじゃがいもの植え付けを行
いました。



フラフープを使って一緒に遊びました。

新体系移行に向けたウインドヒルの取り組み

平成18年4月に施行された障害者自立支援法に伴い、ウインドヒルは平成24年度より新体系に移行します。障害福祉サービスを受けるにあたり、障害程度区分認定が必要となりますので、平成23年6月より認定調査を開始しております。

利用者ごとに障害程度区分認定調査のため、概況調査表や特記事項などの資料の作成を丁寧に行い、調査員の面接を受けています。

利用者が豊かで充実した生活を送り、それぞれの安定した将来を保証するためには利用者に応じた適切な障害程度区分を取得することが重要です。適切な障害程度区分を取得することは、手厚く十分な福祉サービスを受けられることに繋がります。そのためウインドヒルでは自閉症の障害特性や、生活のしづらさ、困難さといったことを調査員に正しく理解して頂き、適切な障害程度区分が得られるよう職員が一丸となり尽力しています。



5月より平日にボランティアに来て頂いてます小川則之さんです。

とてもよい施設、職員の方々に出会い日々感謝しています。また自分の生き方を見直すいい機会ともなっています。利用者の皆さんの充実した生活のため微力ではありますがボランティアとして支援をさせていただきます。

共同生活介護（ケアホーム） 整備事業着工へ

事業（施設）種別	共同生活介護
工事区分	創設
施設建設地	高松市三谷町3890番1
施設名	ケアホーム風見の家
設置主体	社会福祉法人ポム・ド・パン
利用定員	9名（1人部屋）
構造	鉄骨造平屋建
延面積	250.61㎡
開所予定	平成24年4月1日



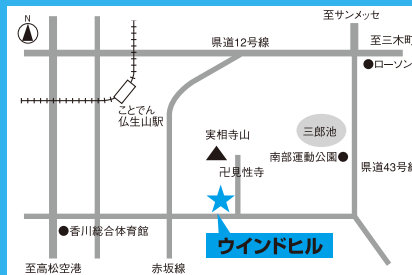
6/13（月）～6/24（金）までの10日間、高松大学発達科学部子ども発達学科の2、3年生4名の実習生を受け入れしました。ウインドヒルで利用者の生活を通して自閉症の障害特性や関わり方などたくさんのことを学んで頂きました。お疲れ様でした。



ウインドヒル『地域交流棟』を利用しませんか

100名程度参加の研修会に使えます。スポーツにも・・・卓球台を備えています。エアロビクス、舞踊や音楽練習に最適！利用料無料。光熱費として500円/1時間必要です。

☆横田敬一郎先生（社団法人日本自閉症協会理事／元・高知大学教育学部附属養護学校副校長）による「知的障害児者療育相談」も随時実施。



問合先：知的障害者更生施設ウインドヒル
〒761-0450 高松市三谷町3851番地

TEL:050-3734-6707 TEL:087-888-4277
FAX087-888-4278

社会福祉法人ポム・ド・パン

貸借対照表

平成23年3月末現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	100,069	流動負債	2,275
現金預金	88,935	未払金	2,240
未収金	10,924	預り金	35
貯蔵金	187	固定負債	63,198
立替金	23	土地取得資金借入金	26,664
固定資産	477,684	設備資金借入金	35,000
基本財産	441,714	退職者給与引当金	1,534
建物	424,175	負債の部合計	65,473
土地	113,675	資産の部	
減価償却累計額	-96,136	基本金	180,510
その他の固定資産	35,970	基本金	180,510
建物	149	国庫補助金等特別積立金	246,704
構築物	28,251	国庫補助金等特別積立金	246,704
機械及び装置	2,667	次期繰越活動収支差額	85,066
車両運搬具	7,224	次期繰越活動収支差額	85,066
器具及び備品	11,244	(うち当期活動収支差額)	18,797
土地	10,024	純資産の部合計	512,280
減価償却累計額	-25,268	負債及び純資産の部合計	577,753
権利	46		
その他の固定資産	1,633		
資産の部合計	577,753		

資金収支計算書

平成23年3月末現在

(単位：千円)

勘定科目		勘定科目	
経常活動による収支	収入	施設整備等補助金収入	993
		施設整備等寄付金収入	5,400
		施設整備等収入計 ③	6,393
		固定資産取得支出	12,352
		施設整備等支出計 ④	12,352
	支出	その他収入	70
		財務収入計 ⑤	70
		借入金元金償還金支出	5,833
		その他の支出	564
		財務支出計 ⑥	6,397
当期資金収支差額合計 ①+③+⑤-②-④-⑥			11,679
前期末支払資金残高			86,115
当期末支払資金残高			97,794

保護者会コーナー

「楽しかったバーベキュー」

6月4日(土)、梅雨の間のカラリと晴れた晴天の下、ウインドヒルでバーベキューが行われました。バーベキューは、開所以来毎年恒例の行事で皆の成長を感じたり、地域との親交を深める良い場になっています。

今年も自治会とリフレッシュクラブの皆様にご参加頂きました。そして「日頃からウインドヒルとの交流を楽しんでいます。今日も喜んで参加しました」との声を頂き、保護者として本当に嬉しく思いました。

又、準備から利用者が活躍、野菜を切ったり会場設営も手伝ってくれました。そして静かにバーベキューを楽しんでいるのを見て、その成長を喜びました。

煙モウモウ、汗だくなく、お父さんはお肉や野菜を焼き、美味しいおにぎりはお母さんが愛情たっぷり込めてにぎりました。職員のみなさんには下準備から当日の運営、そして利用者の見守り支援。本当に感謝です。

みんな一緒に大好きなものの、美味しいものをいっぱい食べて、素晴らしい和が出来てみんなの顔に笑顔が溢れました。暑い、暑いバーベキュー会場に幸せの風が吹いていました。

編集後記

いよいよ来年4月よりウインドヒルも新体系に移行します。今後の社会福祉施設の在り方として地域に根付いた施設であることや利用者の社会参加が課題になっています。今回はウインドヒルと地域の方々と結びつきや利用者の施設外での活動を紹介しました。設立7年目を迎え利用者も大きく成長し、いろいろな地域の活動に参加できるようになりました。また同時にウインドヒルはたくさんの人たちに支えられている幸せな施設だと感じました。今後ともさらに一歩一歩進んでいきたいと思っておりますので温かく見守っていただけたらと思います。



メリー♀ (年齢非公認)
2006年12月にウインドヒルにきました。



モモ♀
2006年1月生まれ。



「ポム・ド・パン」とはフランス語で松ぼっくりという意味です。「ウインドヒル」の建つ丘には、時折、松ぼっくりが転がっています。松ぼっくりは、松の木の生命である種子が住んでいるお家です。ここで種子が大切に育まれ、また、次の命を生み出していきます。一年中緑の葉をつけ、砂地でも荒地でもしっかりと根をはり、大きく枝を広げている松。その生命をしっかりと包み込んでいる松ぼっくり。「社会福祉法人ポム・ド・パン」も強く、たくましく、大きく、そして、小さな一つひとつの生命を育む暖かな場所なのです。